



ファームウェアバージョン :	R3.00.B049	
ハードウェアバージョン :	DGS-3120-24TC	A1、A2
	DGS-312049TC	
	DGS-3120-24PC	
	DGS-312049PC	
	DGS-3120-24SC	
	DGS-3120-24SC-DC	
発行日 :	2014/10/15	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード	2
Web-UI を使用するアップグレード	6
追加機能 :	9
MIB および D-View モジュールの変更点 :	9
コマンドラインインタフェースの変更点 :	9
修正した問題点 :	9
既知の問題 :	10

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R3.00.B049	2014/10/15	DGS-3120-24TC	A1、A2
		DGS-312049TC	
		DGS-3120-24PC	
		DGS-312049PC	
		DGS-3120-24SC	
		DGS-3120-24SC-DC	

注意事項：

R1.02 系もしくはそれ以前のファームウェアから R3.00.B049 に直接ファームアップをすることはできません。R1.02 系もしくはそれ以前のファームウェアから R3.00.B049 にファームアップするには、“DGS-3120_Series_A1_Runtime_2.00.010.had”にアップグレードしてから、R3.00.B049 にアップグレードしてください。5

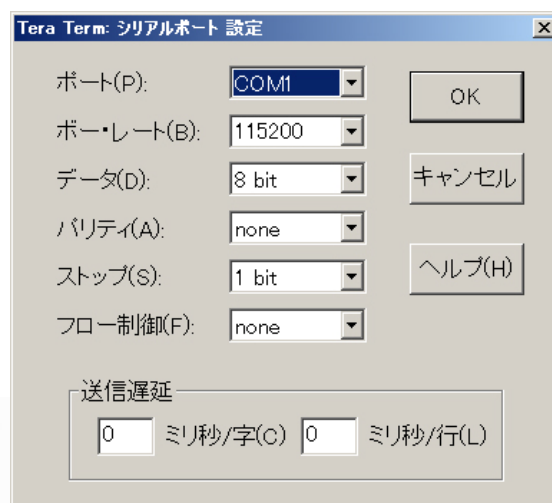
アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは [Web-UI](#) を使用してファームウェアのアップデートを行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用するアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート（コンソールポート）で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RJ-45 シリアルケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

※初期状態では管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていません。何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。

4. ログイン後、下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP <ipaddr> <ipv6addr>] src_file <path_filename 64> {unit<unit_id> all} dest_file <pathname>	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image {unit<unit_id>} <pathname> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
Dir {{unit<unit_id>} <drive_id>} {<pathname>}	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
show switch	スイッチの情報を表示します。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例：

1.ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-3120-24TC:admin# download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3120AX_Run_3_00_B049.had
dest_file DGS3120AX_Run_3_00_B049.had
```

```
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3120AX_Run_3_00_B049.had dest_file
DGS3120AX_Run_3_00_B049.had
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off !!
```

```
Please wait, programming flash..... Done.
```

2.ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

```
DGS-3120-24TC:admin# config firmware image DGS3120AX_Run_3_00_B049.had boot_up
```

```
Command: config firmware image DGS3120AX_Run_3_00_B049.had boot_up
```

```
Success.
```

3.ダウンロードしたファームウェアが、ブートアップ時に起動するファイルとして正常に設定されているか確認します。

DGS-3120-24TC:admin#dir

Command: dir

Directory of /c:

Idx	Info	Attr	Size	Update Time	Name
1	RUN(*)	-rw-	6989884	2014/09/19 22:37:56	DGS3120AX_Run_3_00_B049.had
2	RUN(b)	-rw-	6981596	2013/12/18 09:45:14	DGS3120AX_Firmware_old.had
3	CFG(*)	-rw-	36648	2014/09/19 22:33:28	config.cfg
4		d---	0	2014/09/19 22:34:23	system

29869 KB total (15631 KB free)

(*) -with boot up info

(b) -with backup info

4.ファイルが正常に設定されているのを確認し、スイッチをリブートします。

DGS-3120-24TC: reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y

Please wait, the switch is rebooting...

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。

再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

4. 再起動完了後に「Press any key to login...」と表示されるので、再度ログインします。

4.ファームウェアバージョンを確認します。

DGS-3120-24TC:admin#show switch

Command: show switch

Device Type	: DGS-3120-24TC Gigabit Ethernet Switch
Unit ID	: 1
MAC Address	: 14-D6-4D-68-26-C0
IP Address	: 10.90.90.90 (Manual)
VLAN Name	: default
Subnet Mask	: 255.0.0.0
Default Gateway	: 0.0.0.0
Boot PROM Version	: Build 2.00.003
Firmware Version	: Build 3.00.B049
Hardware Version	: A1
Firmware Type	: EI
Serial Number	: PVY41B5000001
System Name	:
System Location	:
System Uptime	: 0 days, 0 hours, 7 minutes, 32 seconds
System Contact	:
Spanning Tree	: Disabled
GVRP	: Disabled
IGMP Snooping	: Disabled
MLD Snooping	: Disabled
VLAN Trunk	: Disabled
Telnet	: Enabled (TCP 23)

Password Encryption Status : Disabled CTRL+C ESC q Quit SPACE n Next Page ENTER Next Entry a All

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。

※管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていません。
「空白」でログインを行ってください。

5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware** の順にクリックします。



6. ファームウェアダウンロードの設定を行います。

<TFTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From TFTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

A screenshot of the 'Download Firmware' configuration page in the Web-UI. It features two radio buttons: 'Download Firmware From TFTP' (selected) and 'Download Firmware From HTTP'. Below these, there is a 'Unit' dropdown menu set to '1'. The 'TFTP Server IP' field is followed by radio buttons for 'IPv4' (selected) and 'IPv6'. There are input fields for 'Source File' and 'Destination File'. A 'Boot Up' checkbox is at the bottom left, and a 'Download' button is at the bottom right.

TFTP Server IP : IPv4 または IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

※ 「Boot Up」にチェックをいれると、ダウンロードしたファームウェアがブートアップファイルに指定されます。

<HTTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From HTTP」 にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

Source File : 「参照」をクリックし、ダウンロードするファームウェアを選択します。

※ 「Boot Up」 にチェックをいれると、ダウンロードしたファームウェアがブートアップファイルに指定されます。

7. 「Download」 をクリックします。

8. ステータス表示に「Done」と表示されるまでお待ちください。

9. ダウンロードしたファームウェアを、次回起動時のブートアップファイルに指定します。

※手順6で「Boot Up」にチェックをいれた場合は作業不要です。

- ① 「Network Application」 > 「Flash File System Settings」 の順でメニューをクリックします。
- ② 「Root」 欄の 「C:」 をクリックします。
または「Current Path:」 に 「C:/」 と入力→ 「Go」 をクリックします。

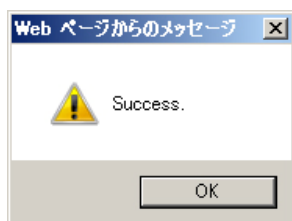
- ③ ブートアップファイルに指定するファイルの「Boot Up」 をクリックします。

Index	Name	Info	Attr	Size (byte)	Update Time	Boot Up	Rename	Delete
1	DGS3120AX_Firmw...RUN(b)		-rw-	6989884	2014/09/19 22:23:43	Boot Up	Rename	Delete
2	DGS3120AX_Firmw...RUN(*)		-rw-	6981596	2013/12/18 09:45:14	Boot Up	Rename	Delete
3	config.cfg	CFG(*)	-rw-	34212	2014/09/19 22:16:56	Active	Boot Up	Rename
4	system		d---		2014/09/19 22:18:34		Rename	Delete

29869 KB total (15634 KB free)
 (*) -with boot up info
 (b) -with backup info

※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

- ④ ブートファイルの指定に成功すると「Success」と表示されるので、画面の「OK」をクリックします。



10. スイッチのリブートを行います。

- ① 「Tools」 > 「Reboot System」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Do you want to save the settings ?」の「Yes」にチェックをいれ、「Reboot」をクリックします。

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

11. リブートの進行状況が表示されるので、そのままお待ちください。

12. 再起動完了後にログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップデートされたことを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.00.B049	1. タスクトレース機能を追加致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.00.B049	<ol style="list-style-type: none"> Accounting 設定の"method_list_name"で長い文字列を登録すると再起動する問題を修正致しました。 スタック構成のマスタ側で予期せぬ再起動が発生すると、マスタ起動後に通信が不可となることがある問題を修正致しました。 SMTP 設定後、"show config modified"や"show config effective"にて設定を確認できない問題を修正致しました。 リンクアグリゲーション使用時に実際に接続しているポートと FDB 情報が不一致となることがある問題を修正致しました。 スタック構成時に機器をメンバへ挿入した際にポートリストを更新しないことがある問題を修正致しました。 Web GUI で、シリアルポートの自動ログアウト設定が正しく反映されないことがある問題を修正致しました。 SD カードへの自動バックアップが時間経過後に失敗することがある問題を修正致しました。 Web GUI 経由で、MST ID に VID を追加できない問題を修正致しました。 ifType 値が誤って表示される問題を修正致しました。 L3 Control パケットが正しく動作しない問題を修正致しました。 稀にスイッチの内部処理において割り込み処理を表すビットがクリアされないことがある問題を修正致しました。 ND スヌーピングが動作しない場合がある問題を修正致しました。 "show config modified"コマンドを実行しても、すべての変更内容が表示されない問題を修正致しました。 スタックのマスタスイッチの電源を切ると、スレーブスイッチに接続していたクライアントがパケットをドロップし始める問題を修正致しました。 802.1X 認証を行った際に CPU 使用率が高くなる場合がある問題を修正致しました。 Voice VLAN を有効にしているにも関わらず、オリジナルの VLAN として DHCP フレームを受信してしまう問題を修正致しました。 トラフィックセグメンテーション機能を有効にしているにも関わらず、IGMP Join フレームが転送される問題を修正致しました。 ログエントリに正しくないタイムスタンプが設定される場合がある問題を修正致しました。

	<p>した。</p> <p>19. 問題のある SFP を使用することによって、トラフィックがブロックされる問題を修正致しました。</p> <p>20. SNMP 経由で、追加したコンフィギュレーションをダウンロードできない問題を修正致しました。</p> <p>21. 802.1X 認証と GuestVLAN を使用した場合に、認証後にゲスト VLAN から移動しない問題を修正致しました。</p> <p>22. 一部のブラウザを使って ACL を生成しようとする WebUI がフリーズしてしまう問題を修正致しました。</p>
--	---

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R3.00.B049	<ol style="list-style-type: none"> Radius 認証、Syslog、筐体からの ping6 コマンドにおいて、Stateless な IPv6 アドレスを使用する問題。 Combo Port において、SFP の RX が信号を受信している状態では、SFP Port、Copper Port とともに Link Up しない問題。 ケーブル診断機能において、Link 速度が 100Mbps(対向が FE のみサポートの PHY) の場合に診断結果が誤って表示される問題。 ケーブル診断機能において、Link 速度が 1Gbps の場合でも Link Down する問題。 R1.02 系もしくはそれ以前のファームウェアから R3.00.xx に直接ファームアップをすることはできない問題。 R1.02 系もしくはそれ以前のファームウェアから R3.00.xx にファームアップするには R2.00 系のファームウェアにアップグレードしてから R3.00.xx にアップグレードしてください。

Copyright 2006-2014 D-link Japan K.K.